

議題 e-learningの課題と展望:これまでの取り組みを振り返って

日時 2011年9月16日(金) 10:15~12:00 場所 NHK出版会議室

話題提供者:鈴木克明(熊本大学大学院) ksuzuki@kumamoto-u.ac.jp

教授システム学専攻: <http://www.gsis.kumamoto-u.ac.jp/>

IDポータル: <http://www2.gsis.kumamoto-u.ac.jp/~idportal/>

1) eラーニングファンダメンタル2003 <http://www2.gsis.kumamoto-u.ac.jp/eLF/>

大学院2単位分のSCS集中講義(テキスト事前配布+事前課題の掲示板提出+質疑応答中心)

目的: インストラクショナルデザイン啓蒙(「やっぴがっかりeラーニング問題」の克服に向けて)

2004日本イーラーニングコンソシアム(eLC)にて有料講座化

2007資格化(eラーニングプロフェッショナル資格)の基盤 <http://www.elc.or.jp/tabid/84/Default.aspx>

2006熊本大学大学院「eラーニング概論」に援用

公開科目: <http://www.gsis.kumamoto-u.ac.jp/opencourses/iel/index.html>

関連論文: 鈴木克明・根本淳子・市川尚・三石大・波多野和彦・小松秀圀(2006)「ID専門家養成のためのブレンド型eラーニングの実践」『教育システム情報学会誌』23(2)、59-70

<http://www2.gsis.kumamoto-u.ac.jp/~idportal/wp-content/uploads/2006a.pdf>

2) NHK高校講座向けWebサイトの設計2003

番組理解に特化した棲み分けを提言: 知っておきたい予備知識+理解度チェック(回答結果共有)

理解度チェック: NHK学園高校で視聴記録として利用

全通研: 「なるほどネット」高校教師による学習資料推薦サイト <http://zentsuken.jp/naruhodo/>

2008全テレビ番組・2009全ラジオ番組Web整備の基盤(理解度チェック=>番組の骨格)

関連論文: 鈴木克明・市川尚・檜原芳仁・森山了一・弓場重貴・猪貝達弘(2004)「NHK高校講座用

Webサイトの試作」『教育メディア研究(日本教育メディア学会誌)』11(1)、1-10

<http://www2.gsis.kumamoto-u.ac.jp/~idportal/wp-content/uploads/2004c.pdf>

3) NHK学園高校ネット学習2005? 体験サイト <https://nos.n-gaku.jp/ORT/sample/>

番組視聴+スクーリングの継続+リポート添削のWeb化を提言

Webサイト基本設計: 自動添削+教員添削の区分け、学習進捗状況一覧表示(点数、〆切日など)

Web化による教科ごとの支援ツールを提案(実現せず)

2005? 科目ごとにネット学習生募集開始、2011システム更新(サービス内容は同じ)

4) 放送大学大学院科目「人間情報科学とeラーニング」2006

4回分を担当: IDレジェンドの米国取材(カークパトリック、シャンク、ケラー、ライゲルース等)

教科書: 野嶋栄一郎・鈴木克明・吉田文(2006)『人間情報科学とeラーニング』放送大学教育振興会

ID的学習環境の試作、提供(自作Webサイト) <http://www2.gsis.kumamoto-u.ac.jp/~uair06/>

5) 熊本大学大学院教授システム学専攻創設2006

eラーニングによるeラーニング専門家養成大学院、100%インターネット型(スクーリングなし)

4つのI: ID+IT+IP+IMを学ぶ、非同期掲示板中心: 異業種間交流による学びあい(社会人中心)

VOD利用は顔見せのみに限定: 書いたもので情報提供、eLP資格取得が可能: eLCとの連携

2008ストーリー中心型カリキュラムの導入、これから: どう宣伝するか(SNS, YouTube, Twitterなど)